

2012 年金環日食 かく戦えり！

富成 一郎

これまで皆既日食への挑戦は 1991 年ハワイ、1999 年ハンガリー、そして思い出ずだにおぞましい 2009 年種子島と、カラーっと晴れた思い出が一つもない。

金環食については、もともと皆既食と比べて高い旅費を払ってまで見に行きたいと思わなかったこともあって、これまで余り関心がなかった。しかし、今回は大分県内で見ることができる千載一遇のチャンスとのことで、俄然興味がわいてきたところなのである。幸いなことに、この春の転勤で金環帯に入る佐伯市に勤務場所が移ったこともあって、またぞろ日食虫がモゴモゴ動き出したといったところですよ。

ただ、基本的に部分食なのだから、通常の太陽撮影と異なるところがそれ程あるとも思えず(私のずぼらな性格と撮影オンチのおかげ!)、わずか 1 週間前の土日にちょこちょこっと撮影リハーサルをやっただけで、本番に臨んだ。

まあ・・・その時の気持ちを正直に打ち明けると、これまでまともに晴れたことないし、5/21 の南九州なんて、雨男の俺がいる限り、確実に雨になるわなあ・・・という大変にすさんだ心持ちであったわけである。

さて金環食当日。予想どおり(こんな時だけ天気予報はよく当たるナー)早朝から小雨気味のドン曇り。しかしめげずに午前 4 時 40 分に自宅出発。5 時 45 分頃には観測場所に予定していた県の佐伯総合庁舎裏の職員用駐車場に到着。佐伯市も同様にポツポツと小粒の雨が降っていた。

今回の為に用意した機材は 4 種類。

メインは、日食にはいつもの PENTAX75EDHF。これに EOS-digital を付けて拡大撮影する予定。

今回は更に、ノーブランドの 6cm を同架して直角プリズムで横に太陽像を取り出し、この像を改良版の太陽プロジェクター(SOLAR PROJECTOR the NEXT GENERATION)に投影して見せる、という見物客が泣いて喜ぶような出し物を準備した。

更に、日食時にはいつも撮影している観測サイトの様子や周囲の暗くなり具合を記録するためのビデオカメラ。

それに加えて、多分雨になるだろうから最後の押さえとして、金環食の進行につれて、地上の明るさがどのように変化していくかを、同一露出、同一絞り、同一感度により定点撮影するための COOLPIX5000。

以上 4 品である。

空模様から考えてメインのとを組み合わせるのは無意味(特に太陽プロジェクターは段ボール製だし(^^))と判断し、とを愛車のバックドアの下に雨を避けるようにして設置した。

僕の車以外は 1 台の車もない職員駐車場に向けて、ビデオカメラと COOLPIX を三

脚にセットし、6 時前頃から撮影を開始した。本来ならこの方向に、月によって食されるのを今や遅しと待つ太陽が見えているはずである。

ビデオは基本的には、金環の時間を挟んで数十分連続で、その前後は 10 分程度のインターバルで随時回していくつもり。

今回観測の中心となりそうな COOLPIX は、たまたま第二食が 7h24m 前後、食の最大が 7h25m 前後、第三食が 7h26m 前後ということらしいので、食最大の 7h25m を中心に時間対称的に撮影して、地上の明るさの変化を追うことにした。

厚い雲は晴れず、小雨のパラつく中、ただひたすらビデオを回しては、定時に COOLPIX を押す、という作業を続ける。

そうこうしている内に、宇宙少年団おおいた分団の子どもとその親御さんが二組ほどわざわざ大分からやって来て、万一の晴れ間に望みを共に託すこととなった。

もともと、太陽高度の低い早朝から欠け始め、太陽が昇るに従い食分が大きくなるのだから、互いの効果が相殺しあって、金環になるまでの地上の明るさの変化は比較的緩やかで、金環の後、太陽高度の上昇と食からの回復が重なって急速に地上は明るくなるはずである。

また、7h24m から 7h26m までの金環食の間 2 分間は、太陽面上の月の位置が変化するだけで、見えている太陽面の面積の変化はないわけだから、基本的にはこの間の地上の明るさの変化はないはずである。

さて、上記のような推理がどの程度当たるのか？

たとえ雨と言えども、それなりに楽しみな金環日食の観測となった。

時は過ぎ、6 時 45 分になり、7 時になり、刻々と金環の時間がせまってくるのだが、あまり周りが暗くなったような雰囲気はない。実際は暗くなっているのだが、目の調節作用で気がつかないだけなのか？ それとも太陽高度の上昇の効果が予想以上に効いているのか定かではない。

7 時 15 分。いよいよ金環まであと 9 分（食最大時まで 10 分）となった。気のせいかわりに少し暗くなったような気がする。いや、それ以上に、明らかに涼しくなっている。気温が下降しているのだ。

7 時 24 分。ついに金環となった（はずである）。周囲は明らかに暗くなり、気温も下がっている。しかし、残念ながら太陽の姿は分厚い雲に遮られて全く見えない！！

折しも、雨脚が金環に合わせたかのように少し強くなった。まさに涙雨・・・。

7 時 26 分。何の奇跡も起こらぬまま、人生で唯一の大分県内での金環食の幕は閉じた。何とも言えぬ脱力感・・・この感じはこれで 4 回目。そう言えば、彼女に振られたとき、受験に失敗したとき、ボーナスを落としたとき・・・

俺の人生は常にこの脱力感と共にある。トホホ・・・(T_T)

とりあえずゲットした写真を次ページに掲げる。見事に金環の時間を中心に推測したような明るさの変化をとらえることができた。金環の時の暗さが雲の厚さが増したせいかどうかは定かではない。

予報では、金環開始：7h23m55s 日食最大：7h24mm59s 金環終了：7h26mm02s



6h50m01s (35 分前)



7h05m01s (20 分前)



7h10m02s (15 分前)



7h15m01s (10 分前)



7h20m02s (5 分前)



7h22m00s (3 分前)



7h24m02s (1 分前 : 金環開始)



7h25m02s (食最大)



7h26m04s (1 分後 : 金環終了)



7h28m01s (3 分後)



7h30m12s (5 分後)



7h35m01s (10 分後)



7h40m11s (15 分後)



7h45m01s (20 分後)



8h00m01s (35 分後)

カメラ:NIKON COOLPIX5000 2012/5/21 露出:1/125 絞り:F2.8 ISO:200 (全テ-ク共通)